

戦争と平和を考える特別展

世界的陶芸家・北 一明 展覧会

ようへん

反核デスマスクと耀変天目茶碗

■ 展示会場：伊那市創造館 1階特別展示室（入場無料）

■ 期間：9月3日(木)～28日(月) 10時～17時

休館日は火曜日(22日も)と24日(木) ※(最終入場は16時45分)



北一明(きた かずあき)は飯田市出身の陶芸家で宋代の耀変天目を研究し、初めて独自に作り出した陶芸家で、その作品は大英博物館、エルミタージュ美術館、バルセロナ国立陶芸美術館、故宮博物院、上海美術館はじめ世界の著名美術館に収蔵展示されています。

1970年代からは反戦・反核をテーマに作品を制作し、海外の著名人たちの推薦でノーベル平和賞にノミネートされました。2013年に亡くなり、2023年に飯田市に記念館が開設され、元法政大学総長の田中優子さんが名誉館長を務めておられます。

今回は、反核デスマスクの作品を中心にお借りして特別展示いたします。

『デスマスク』とは・・・(英語:death mask)は、石膏や蠟で死者の顔の型を取ったもの。北の作品は、被爆者が原爆で焼かれた苦しみと戦争に対する怨(うら)みを描きだしている。



反核デスマスク



死屍累々

※ 駐車場は「いなっせ駐車場」をご利用の上、駐車券をお帰りの際、創造館1階事務所までお持ちください

主催：非核平和都市宣言をさらにすすめる伊那市民の会

共催：伊那市、伊那市創造館

協力：平和のための上伊那戦争展実行委員会

伊那市民の会連絡先：宮下与兵衛 080-3704-1084